

フグ科タキフグ *Takifugu oblongus* の日本沿岸からの3個体目の記録

畑 晴陵¹・伊東 正英²・原口 百合子³・本村 浩之^{3*}

¹ 〒890-0065 鹿児島県鹿児島市郡元 1-21-30 鹿児島大学総合研究博物館 (水産学部)

² 〒897-1301 鹿児島県南さつま市笠沙町片浦 718

³ 〒890-0065 鹿児島県鹿児島市郡元 1-21-30 鹿児島大学総合研究博物館

Third record of *Takifugu oblongus* (Tetraodontidae) from Japanese coastal water

Harutaka Hata¹, Masahide Ito², Yuriko Haraguchi³ and Hiroyuki Motomura³

¹The Kagoshima University Museum (Faculty of Fisheries), 1-21-30 Korimoto, Kagoshima 890-0065, Japan

²718 Kataura, Kasasa, Minami-satsuma, Kagoshima 897-1301, Japan

³The Kagoshima University Museum, 1-21-30 Korimoto, Kagoshima 890-0065, Japan

Abstract. A single specimen of *Takifugu oblongus* (Tetraodontiformes: Tetraodontidae) was collected from off Kasasa, Kagoshima Prefecture, southern Kyushu, Japan at a depth of 10 m. It represents the first record of the species from Kagoshima Prefecture and only the third known record from Japanese coastal water since the first and second specimens were recorded from off Yamaguchi Prefecture in 2008 and 2009. Description of the Kagoshima specimen is provided.

Key words: Tetraodontidae, *Takifugu oblongus*, distribution, record, Kagoshima.

(要約)

フグ科トラフグ属のタキフグ *Takifugu oblongus* が鹿児島県笠沙沖から1個体採集された。本標本はタキフグの鹿児島県からの初めての記録であり、日本沿岸海域では山口県萩市沖と長門市沖から採集された2標本に次いで3番目の記録となる。本研究では鹿児島県から採集された個体の形態学的特徴を記載した。

フグ科魚類 Tetraodontidae は、日本から7属52種が報告されており (山田, 2000; 中坊, 2001; Matsuura and Toda, 2005), このうち20種がトラフグ属 *Takifugu* に含まれる (山田, 2000)。 *Takifugu oblongus* (Bloch, 1786) はインド産の標本に基づいて新種として記載され、その後、インド・西太平洋の広域から報告されている (Matsuura, 2009)。和名タキフグは、Abe (1949)

によって香港とボルネオから得られたそれぞれ1個体 (全長 265 mm) と7個体 (全長 130–160 mm) の標本に基づき提唱された。

益田ほか (1988) は本種の国内における分布域を東シナ海南部とした。その後、酒井・藤田 (2009) は2008年10月17日に山口県萩市沖で底曳網によって採集されたタキフグ1標本 (NSMT-P 93290, 標準体長 211.0 mm) を報告し、

*連絡先 (Corresponding author): motomura@kaum.kagoshima-u.ac.jp

これがタキフグの日本沿岸からの初記録となった。その後、河野ほか（2011）は山口県日本海海域における海洋生物リストの中で長門市沖から得られた全長 29 cm のタキフグ 1 個体を報告した。しかし、この標本の所在は不明である。

2010 年 4 月 20 日に鹿児島県南さつま市笠沙町沖で 1 個体のタキフグが採集された。この標本は、鹿児島県における本種の標本に基づく初めての記録となるとともに、日本沿岸における 3 番目の記録になるため、ここに報告する。

計数・計測方法は Dekkers (1975) にしたがった。標準体長は体長と表記し、体各部の計測はデジタルノギスを用いて 0.1 mm 単位まで行った。生鮮時の体色の記載は、固定前に撮影されたカラー写真 (Fig. 1) に基づく。本報告に用いた標本は、鹿児島大学総合研究博物館に保管されており、上記の生鮮時の写真は同館のデータベースに登録されている。本報告中で用いられている研究機関略号は以下の通り: KAUM (鹿児島大学総合研究博物館); NSMT (国立科学博物館)。

Takifugu oblongus (Bloch, 1786)

タキフグ

(Fig. 1; Table 1)

Tetrodon oblongus Bloch, 1786: 6, pl. 146, fig. 1
(type locality: Coromandel, India).

標本 KAUM-I. 27758, 体長 227.7 mm, 鹿児島県南さつま市笠沙町貝浜沖, 水深 10 m, 2010 年 4 月 20 日, 定置網, 伊東正英。

記載 計数形質と体各部の体長に対する割合を Table 1 に示した。体は円筒形で細長い。頭部から尾柄にかけての背縁輪郭は緩やかな弧を描く。腹部の輪郭はほぼ直線状。体高と体幅は胸鰭後端付近で最大になる。尾柄は短く、後方に向かって側扁する。眼は楕円形で小さく、眼径は頭長の 14.5%。口は小さく端位で、厚い唇で覆われる。両顎に嘴状の歯がそれぞれ 2 枚ある。鼻孔は眼の前方に 2 対あり、開孔する。眼隔域は平坦で幅広く、頭長の 42.6%。胸鰭は中位で、第 1 軟条のみ不分枝。腹鰭はない。尾鰭は截形。吻端から尾柄にかけての背面、眼の前縁直下から臀鰭起部にかけての腹面、および鰓孔前方から胸鰭後端にかけての体側に多数の小棘がある。

生鮮時の色彩—体背面から体側上半部は茶褐色で、多数の白色横帯がある。眼隔域から背鰭起部前方の背面には多数の白色斑が散在する。体側下半部および体腹面は一様に白色。背鰭各軟条は黄褐色で、鰭膜は白色。胸鰭第 1 軟条上縁は茶褐色。その他の胸鰭各軟条は黄褐色で、鰭膜は白色。尾鰭は鰭条・鰭膜ともに第 7 軟条を境に上方は黄褐色、下方は白色。臀鰭は鰭条・鰭膜ともに一様に白色。



Fig. 1. Fresh specimen of *Takifugu oblongus* (KAUM-I. 27758, 227.7 mm standard length, Kasasa, Kagoshima, Japan).

Table 1. Counts and proportional measurements of *Takifugu oblongus*. Figures in parentheses indicate mean values of specimens from Thailand.

| | Japan (<i>n</i> = 1) | Thailand (<i>n</i> = 3) |
|-----------------------------------|-----------------------|--------------------------|
| Standard length (mm) | 227.7 | 105.5–128.8 |
| Counts | | |
| Dorsal-fin rays | 12 | 12–13 |
| Anal-fin rays | 12 | 10–12 |
| Pectoral-fin rays | 15 | 16 |
| Caudal-fin rays | 8 | 8–9 |
| Measurements | | |
| As % of standard length | | |
| Head length | 32.7 | 36.1–38.0 (36.9) |
| Length of longest dorsal-fin ray | 14.9 | 14.9–16.6 (15.9) |
| Length of shortest dorsal-fin ray | 6.8 | 5.8–7.2 (6.4) |
| Maximum body depth | 26.8 | 30.2–45.8 (37.6) |
| Maximum body width | 25.4 | 25.2–27.0 (25.9) |
| As % of head length | | |
| Snout length | 48.9 | 44.4–49.8 (47.7) |
| Interocular distance | 42.6 | 46.2–52.9 (50.4) |
| Eye diameter | 14.5 | 12.4–12.6 (12.5) |
| Dorsal profile to eye | 23.4 | 23.3–29.4 (26.6) |
| Nasal organ length | 7.2 | 6.9–7.8 (7.2) |
| Tip of snout to nasal organ | 29.9 | 28.1–30.5 (29.0) |
| Eye to nasal organ | 29.7 | 22.9–25.5 (24.2) |
| Mouth width | 37.4 | 32.9–34.9 (33.9) |
| Upper-lip depth | 5.6 | 4.8–5.3 (5.0) |

固定後の色彩—体背面から体側上半部の茶褐色は退色し、紫黒色となる。

分布 タキフグは南アフリカ東岸からオーストラリアにかけてのインド・西太平洋に広く分布する (Matsuura, 2009)。日本沿岸海域では、山口県萩市沖 (酒井・藤田, 2009)、長門市沖 (河野ほか, 2011) および鹿児島県南さつま市沖 (本研究) から記録されている。

備考 本標本は、吻端から尾柄にかけての背面、眼の前縁直下から臀鰭起部にかけての腹面、鰓孔前方および鰓孔後方から胸鰭後端にかけての体側に多数の小棘があること、体背面から体側上半部は茶褐色で、多数の白色横帯があることなどの特徴が山田 (2000) や Matsuura (2009) などが報告した *T. oblongus* の標徴と一致したため、本種に同定された。鹿児島県におけ

る採集記録は、タキフグの日本沿岸からの3例目の記録となる。本種はインド・西太平洋に広く分布することが知られていること (Matsuura, 2009)、沖縄県からの報告がないこと、日本本土からの記録が著しく少ないことなどから、山口県および鹿児島県から採集された個体は、黒潮によって偶発的に運ばれてきたものと考えられる。

比較標本 タキフグ *Tetrodon oblongus* (3個体): KAUM-I. 23446, 体長 105.5 mm, KAUM-I. 23447, 体長 109.6 mm, タイ王国・タイ湾 (サムットプラーカーン県マハチャイの市場で購入), 2009年9月24日, 底曳網, 松沼瑞樹; KAUM-I. 33133, 体長 128.8 mm, タイ王国・タイ (サムットプラーカーン県マハチャイの市場で購入), 2010年11月18日, 底曳網, 吉田朋弘。

謝 辞

本報告を取りまとめるにあたり、西大樹氏、大石一樹氏をはじめとする鹿児島大学総合研究博物館ボランティアの皆さまと同博物館魚類分類学研究室の皆さまには適切な助言を頂いた。ニュージーランド国立博物館の Carl Struthers 氏には Abstract の校閲をして頂いた。ここに深く感謝する。本研究は、鹿児島大学総合研究博物館の「鹿児島県産魚類の多様性調査プロジェクト」と国立科学博物館の「黒潮プロジェクト（浅海性生物の時空間分布と巨大海流の関係を探る）」の一環として行われた。タイ産のタキフグは日本学術振興会の若手研究者インターナショナル・トレーニング・プログラムによって採集された。

引用文献

Abe, T., 1949. Taxonomic studies on the puffers (Tetraodontidae, Teleostei) from Japan and adjacent regions V. Synopsis of the puffers from Japan and adjacent regions. *Bull. Biogeogr. Soc. Japan*, **14** (13): 89-140.

Dekkers, W. J., 1975. Review of the Asiatic freshwater puffers of the genus *Tetraodon* Linnaeus, 1758 (Pisces, Tetraodontiformes, Tetraodontidae). *Ins. Taxonomic Zool.*, **45**: 87-

142.

河野光久・堀 成夫・土井啓行, 2011. 2005～2009年の山口県日本海域における海洋生物に関する特記的現象. 山口県水産研究センター研究報告, **9**: 1-27

益田 一・荒賀忠一・吉野哲夫, 1988. 魚類図鑑 南日本の沿岸魚改訂版. 東海大学出版会, 東京. 382 pp.

Matsuura, K., 2009. Tetraodontidae. In Kimura, S., Satapoomin, U. & Matsuura K. (Eds.), *Fishes of Andaman Sea*: 335-337. National Museum of Nature and Science, Tokyo.

Matsuura, K. & Toda, M., 2005. First record of the sharpnose puffer, *Canthigaster solandri* (Teleostei: Tetraodontiformes), from Japan. *Bull. Natn. Sci. Mus.*, Tokyo, Ser. A, **31** (3): 119-122.

中坊徹次, 2001. カイユウセンニンフグ. 中坊徹次・町田吉彦・山田耕作・西田清徳 (編), 以布利 黒潮の魚 ジンベエザメからマンボウまで: 278. 大阪海遊館, 大阪.

酒井治己・藤田 勲, 2009. 日本沿岸から初めて記録されたタキフグ. 水産大学校研究報告, **58** (1): 43-44.

山田梅芳, 2000. フグ科. 中坊徹次 (編), 日本産魚類検索 全種の同定, 第二版: 1418-1431, 1641. 東海大学出版会, 東京.

(2012年8月20日受領, 2012年9月14日受理)